

緑内障の治療実績が多い

関西の主な病院として当院が掲載されました!

H27年4月2日(木) 読売新聞

(第3種郵便物認可)

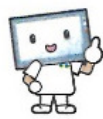
かんさい



緑内障

今回のテーマは目の病気「緑内障」。日本では40歳以上の20人に1人がかかり、失明原因では1位。あなどれません。

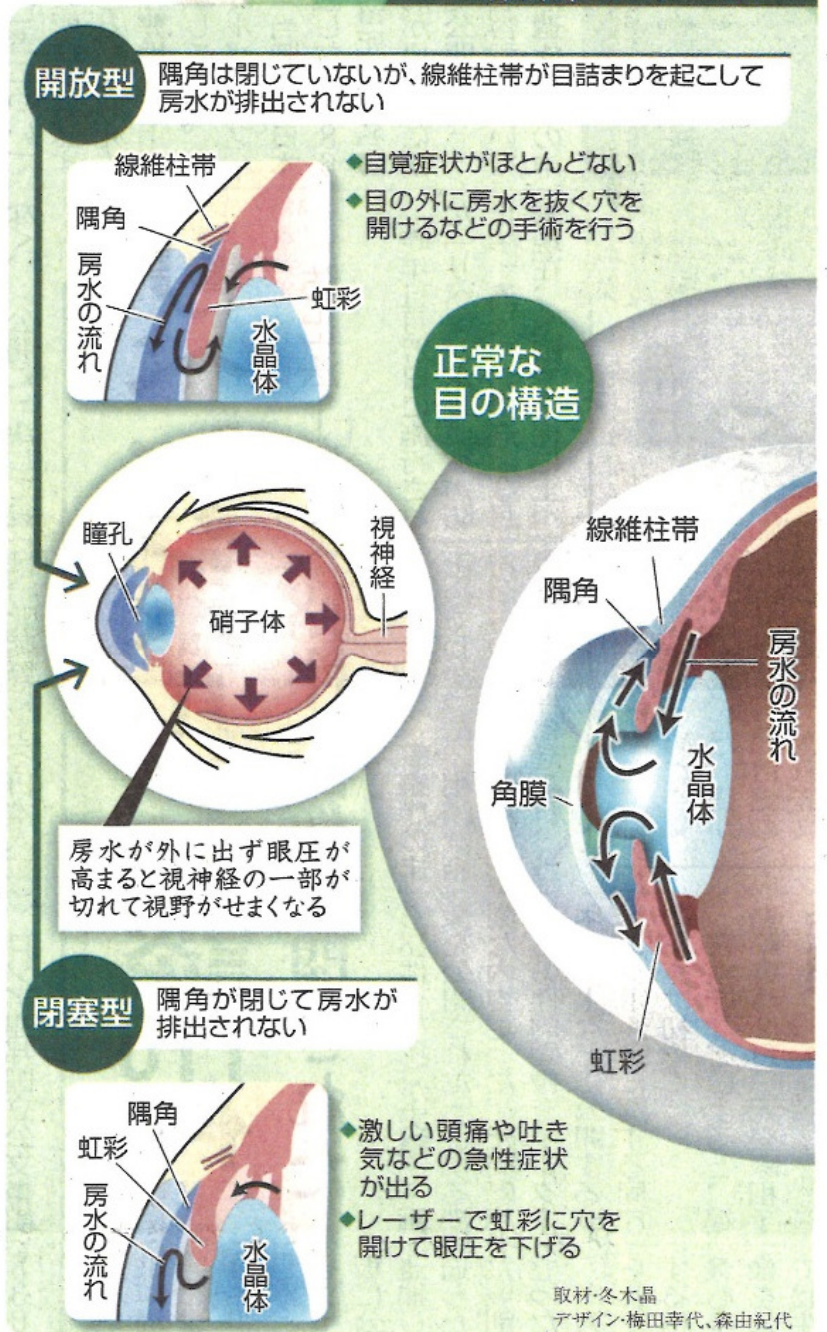
なぜ起きる?



目の中には、栄養や酸素を運ぶ「房水」という透明な血液が流れています。房水の流れが滞ると、目玉の中の圧力「眼圧」が上がり、奥の視神経が押されて傷つき、視野が欠けていきます。緑内障には大きく分けて二つの種類があります。目の表面の角膜と、瞳の大きさを調節する虹彩に挟まれ、房水が血管に戻る出口にあたる「隅角」が開いていれば「開放型」、狭い場合は「閉塞型」といいます。多くは「開放型」。隅角にある「線維柱帯」、またはその先の排水管が目詰まりします。「閉塞型」は、線維柱帯が閉じ、房水が出られなくなります。

眼圧下げで失明回避

緑内障のメカニズム



40歳以上は定期検査を

どんな症状?



開放型は近視の人がなりやすく、見えにくさや痛みなどの症状はあまりないですが、光の周りに虹彩の輪が見えることがあります。別の病気で眼科にかかり、見つかることも多いです。閉塞型は遠視の人がかかりやすく、60歳以上の女性に多いです。眼圧が急に上がる充血や視力低下、目の痛みを感じたりします。激しい頭痛や吐き気など目

どう治すの?



開放型なら、まずは房水の流れを促し眼圧を下げる目薬を数種使いますが、効果が十分でない場合は手術になります。手術の主流は「線維柱帯切除術」という方法。線維柱帯を切り取り、虹彩や白目の部分に穴を開けて房水の逃げ道を作ります。線維柱帯が目詰まりしてい

以外の症状が出るので、救急搬送される方もいます。

ば、そこを切り開く「線維柱帯切開術」を行います。閉塞型は目薬で眼圧を下げ、レーザーで虹彩に穴を開け房水を通す「レーザー虹彩切開術」が一般的です。本緑内障学会評議員)

白内障がある場合は、白内障手術で隅角が開きます。「緑内障は失明する」という印象は薄れてきましたが、油断は禁物。40歳以上の方は、人間ドックなどでの定期検査をお勧めします。*監修 大島安正・国立病院機構大阪医療センター(大阪市中央区)眼科長(日本緑内障学会評議員)

緑内障の治療実績が多い関西の主な病院

府県	病院名	代表電話
大阪	関西医科大学病院	072-804-0101
	国立病院機構大阪医療センター	06-6942-1331
	大阪大病院	06-6879-5111
	関西医科大学大田病院	06-6992-1001
	大阪医大病院	072-683-1221
兵庫	神戸大病院	078-382-5111
	あさぎり病院	078-912-7575
	兵庫医大病院	0798-45-6111
	神戸市立医療センター中央市民病院	078-302-4321
京都	府立医大病院	075-251-5111
	京都大病院	075-751-3111
奈良	天理よろづ相談所病院	0743-63-5611
滋賀	滋賀医大病院	077-548-2111
	和歌山 紀南病院	0739-22-5000

*「医なび」では、身近な病気の知識や治療の情報をお伝えします。科学部 oykagaku@yomiuri.com

お問合せは、あさぎり病院 眼科外来まで。